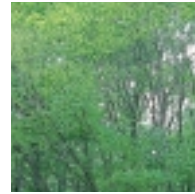


こうふ町 議会だより

町勢
世帯数/1,142世帯
人口/3,569人
(平成21年11月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



チームワークで躍進!!

(江府中学校体育祭)

| | | | |
|-------|--------|-------------|-----------|
| 私のひと言 | いっぱん質問 | 決算特別委員会参考意見 | 20年度決算を認定 |
| | | | |
| 12 P | 10 P | 7 P | 2 P |

20年度決算を認定

歳出総額 47億6,540万円

一般会計

30億1,800万円

特別会計

17億4,740万円

限られた財源で

町民に身近な施策展開

平成21年第7回江府町議会9月定例会は11日に招集され会期を25日までの15日間として開かれた。今回の定例会は平成20年度の一般会計と17の特別会計の決算を特別委員会で審議した。町長提出議案20件は慎重審議され、すべて原案通り可決した。また最終日に江府町議会会議規則により4議案議員発議し可決した。

一般会計

平成20年度の一般会計は歳入32億1,400万円、歳出30億1,800万円で黒字決算となった。歳入は地方交付税、寄付金、繰入金が増額となったが、町税、分担金及び負担金、県支出金の減額によりマイナスとなった。主な歳入は、町税2千2百万円、諸収入5千5百万円等で1千60万円の減額となった。歳出は教育費の大幅減額、民生費、農林水産業費、衛生費の減額はあるが総務費は増額となる。

費目別内訳 (主なもの)

- (1) 公債費 7億8,226万円。構成比率25・9%
 - (2) 総務費 6億9,666万円。
 - (3) 民生費 5億2,794万円。
 - (4) 農林水産業費 3億4,493万円。
 - (5) 衛生費 2億6,786万円。
 - (6) 教育費 2億3,566万円。
 - (7) 土木費 1億2,938,333万円。
 - (8) 消防費 7千158万円
- などです。

特別会計

平成20年度の17会計は、歳入総額19億5,992万円、歳出は17億4,740万円で前年対比82・4%の減額となりました。

主な歳出は国民健康保険(事業勘定) 4億5,371万円、国民健康保険(施設勘定) 3億6,214万円、老人保健7千767万円、介護保険(保健事業勘定) 4億5,482万円、簡易水道事業1億3,584万円、農業集落排水事業2億2,436万円、特定環境保全公共下水道事業6千963万円などです。

監査委員の審査意見

住民が安心・安全で暮らせ 将来展望の持てる江府町を築く

平成20年度江府町決算
監査に伴う行財政の実態
と問題点を総括いたしま
す。

平成20年12月、平成20
年度から30年度までの財
政見通し説明会を開催、
町報臨時号を配布され財
政推計などの情報を町民
に提供されました。

20年単年度公債比率22
・4%であり実質公債比
率は22・8%となり公債
費支出も21年度がピーク
になり今後も財政面にお
いては、税収の減収も見
込まれ一層厳しい状況が
予想されます。

今後の行財政につきま
しては、限られた財源で
あることの認識のうえに
立って、財政状況の情報
を町民に提供しながら住
民サービス、負担につい
ての考え方を明確に示し、
身の丈にあったメリハリ

のある予算編成はもちろ
ん歳出の抑制に一層努力
される必要があります。

また、財政健全化法に
よる早期健全化団体に指
定されないよう、シビア
な取組みと英知の結集を
求めます。

住民が安心、安全で暮
らせ、将来展望の持てる
「江府町」を築くことが使
命であると思えます。町
民と行政がお互いに「自
助、互助、扶助」の關係
を持ち、町民の目線での
まちづくりを進めていた
だくことを望みます。

監査留意事項

- (1) 行財政改革の一層の推
進を図りたい。
- (2) 小学校統合により閉校
となった小学校の有効活
用を検討されたい。

(3) 職員人事評価制度導入
を検討されたい。

(4) 企業誘致による地域経
済の波及効果を一層検討
されたい。

要望事項

環境王国の指定を受け
たが、相乗効果をあらゆ
る面から検討し、特産品
等の販路拡大を推進され
たい。



審査意見を報告する砂原代表監査委員

地方行政調査 特別委員会の 設置について

全員で構成し、県外に
おいて10月13日から15日
まで調査を行う。

① 北海道福島町での議会
の活性化への取り組み
と自立のまちづくりにつ
いて

② 北海道木古内町の保健・
医療の取り組みと老人
福祉の取組みについて

常任委員会の 所管事務調査 について

総務経済常任委員会
行財政改革等の進捗状
況等を調査する。

教育民生常任委員会
小・中学校、江尾診療
所、社会福祉協議会等、
施設管理運営等の調査を
行う。

決算の審議

一般会計

どうなる公債費比率

Q 平成20年度決算からみると国の基準を上回っているが、今後厳しい状況はどう打開しますか。

A 早期健全化基準25%は下回っていますが、予断は許されませんが、将来推計でみますと平成24年に25%をわずかに上回りそうです。一括返済等、進めながら財政健全化に向けていきます。

地方税(固定資産税)

Q 今年度の固定資産税の内訳はどうなっているか。

A 中国電力の固定資産税は、2千200万円の減額ですが、日本通運の固定資産税が今年度から1千万円入っています。

たばこ税につきましても、コンビニが出来たおかげで、増額になっています。

まちづくり会議

Q まちづくり委員会の活動はどのようになっているのか。

A まちづくり推進会議は、集落と行政と4ヶ月に1回の予定にしています、今後計画し開催していきます。

町営バスの運行

Q 3台のバスを購入して運行を日本交通に委託しているが、利便性についてはどうか。

A いろいろ課題が出ています。停留所、時間帯等見直しを委員会で検討して、改善していきます。

町税未収金徴収

Q ここ近年町税等滞納者が固定化している状況であるが、徴収努力は。

A 滞納者が固定化している現状、高額滞納も見受けられます。納付確約をするなど、時効中断と徴収に努めます。

老人クラブの活性化

Q 各集落の老人クラブの活性化は。

A 現在21クラブで約千人の会員が活動をしています。今後も活動助成を行っていきます。



通学バス

資源ゴミ分別収集

Q 分別収集の徹底は。ゴミの量が年々増えております。町民に協力をして頂き、減量化に努めます。

地積調査の実施状況

Q 現在武庫地内の半の上を行っているが、今後の進捗状況は。

A 平成17年に取り組んできたが、なかなか進んでいません。今後地域地権者のご協力で推し進めて参ります。

統合後の小学校をどうする

Q 小学校の統合により廃校になった校舎校庭の今後の活用は。

A 夏におこなったアンケートに基づき、早急に結論を出していきます。

保育園の保守管理

Q 建設されて30年、老朽化が目立っています。今後の対応は。

A 耐震のためにも早急に検討します。

中学校の将来構想

Q 耐用年数は来ているが、将来構想は。

A 少子化による生徒の激減もあり、今後検討していきたい。

統合による児童の生活

Q 江府小学校に春から通学しているが、学校生活、通学等に配慮はしてあるか。

A 1年前から取り組みをしてきたので大きな問題はありませんが、生活相談週間等をつけて、児童の生活に気を付けていきます。

工業団地は

Q 現在、残土置き場になっているので、きちんと整備する必要がありますが、期限は切つてあるのか。

A 現在、下蚊屋バイパスの残土、小学校の体育館の残土を仮置き場としている。期限を定めているので、元に戻し企業誘致に努めます。

総合健康福祉センター

Q 建設から10年経った施設の整備、駐車場の拡張を図る必要があるが取り組みは。

A 毎年利用者が増えてきています。施設整備と、駐車場の拡張に際し検討していきたい。

新型インフルエンザの対応

Q 新型インフルエンザの対応を早急にする必要があるのでは。



マスクと手洗いの励行

Q 情報を正確にお伝えし、手洗い、マスクの励行を進めます。

スキー場圧雪車の効果

Q 新しく購入した圧雪車の威力を発揮できたのか。

A 最新型の圧雪車で雪が良く締まって評判がよかった。

観光案内看板整備

Q 看板の整備は。

A 対応が遅れていますが、今後早急に看板整備に努めます。

こんにやく芋の栽培

Q こんにやく芋の栽培の推進は。

A 現在24名の方々が取り組んでいらっしゃいます。江府町の特産物になるよう努めます。



こんにやく畑

林業振興費の有効利用

Q 作業道、路網整備の取り組みは。

A 森林組合としっかり連携をとり、作業道、路網整備を盛り込んだ事業を進めます。

安心の通学路整備

Q 統合小学校の通学路の整備は。

A 安心安全な通学路に努めます。

特別会計

国民健康保険税は

Q 平成19年度は下がっていた医療費が平成20年度は上がっている。国民健康保険税は他町に比べ高いのか。

A 国保税は、所得割平等割・資産割の3つからなり県内の平均は年額92,000円ですが、江府町の平均は80,000円と他町に比べ安くなっています。その理由は、前期高齢者の数が多く補助が多いなどが要因です。

診療所の状況は

Q 歯科診療所の患者数が若干減っているがその要因は。また歯科の保険診療と自由診療の比率はどうか。

A 歯科医師の交代があり1日平均で4名ほど減ったが、医師の

交代時期にはどこでもあることで平成21年は回復しつつあります。また、町営の診療所ということもありほとんど保険診療で行っています。

新型インフル エンザ対策は

Q 新型インフルエンザが流行しているがどのような対策を取っているか。

A 現在、防災無線で予防のためのマスク・うがい・手洗いの励行を呼びかけています。また、学校や役場などのためにマスクの備蓄をしており必要に応じて配布する予定です。集団発生は、10人以上いる学校や事業所で2人患者が出れば、県に通報することになっていきます。今後の状況に応じ国・県の指導を仰ぎ学級閉鎖等、迅速に対処したい。

施設介護の 待機状況は

Q 在宅介護を基本として始まった介護制度だが、施設入所の希望が多く入りたくても入れない人があるようだが今の状況はどうなっているか。

A 現在の入所待機状況は、介護老人施設あやめが約10人、チロルの里特別養護老人ホームが約30人となっている。どのぐらいで入所できるかはその人の状況を勘案して決められるので、入所の希望があれば相談させて頂いています。

索道事業は

Q 昨年度のスキー場の状況は。又、今後の運営方針は。

A 昨年は、雪に恵まれ黒字となりました。また、新しくした圧雪車により雪が硬く踏み



宮市地区農業集落排水工事

しめられることにより営業期間がかなり延びています。今後は、指定管理の受け手を模索しながら、それまでは町で運営を行いたい。

水道事業は

Q 毎年、修繕費が500万円程度かかっているが、その内容と将来の修繕計画は。

A この修繕費は、町内にある15施設の水道についてポンプの取替え・バルブ交換・メーター交換が主なものです。昨年度は料金を改定し利用料金が年間約4000万円と平成19年に比べ約500万円増加したが、一般会計から繰り入れして運営している状況です。その様なことから今後も修繕計画を立てていきたい。

決算特別委員会

参考意見

一般会計

平成20年度は歳入歳出額は前年対比1060万円減額の32億1400万円、歳出額は8518万円減額の30億1800万円（対前年比97・3％）で、差引額1億9600万円となっています。

その内、翌年繰り越すべき財源が、2541万円で実質収支額は、1億7059万円となり、これは行財政改革に取り組んだ結果です。

今期決算における実質公債費比率22・8％は、早期健全化基準25％を下回ったものの、予断を許さない状況は続きます。

平成11年度対比歳入は70％まで減少しています。しかし町民の直接生活に関わる事業には、財政状況をしっかりと把握し適宜取り組まなければなりません。

今後も更なる行財政改革に努めることを要望します。

総務課

1. 厳しい財政に対して、人件費の自主抑制により、町長20％・副町長・教育長12％・一般職員7％・管理職手当1％カットで財政改革に努めている。今後も厳しい財政に伴い、住民の奉仕者として取り組んで頂きたい。

2. 公共用地管理について今期から統合して小学校の跡地、特に明倫小学校の借地料及び老朽化した校舎等、その他の小学校を含め有効利用の為、早急に今後の方向性を出されたい。

3. 工業団地に残土の一時預りをしているが、百年に一度の不況で、企業誘致は厳しいが、期限を切って整備されたい。

4. 武庫地内の地積調査を、住民のみなさんの協力で、計画的に進められたい。

企画政策課

1. 今後の公債費比率と行財政改革について、建設費等執行するに、公債費比率が25％を超えないよう、取り組んでいます。公債費比率の目標が18％において引き続き財政改革を進めると共に、起債の繰上げ償還等に取り組まれたい。

2. 情報処理について、地上デジタル放送・ブロードバンド対応について遅れることなく計画推進されたい。

3. まちづくり町民会議委員会は、住民主役のまちづくりのため町民の声を活かされたい。

町民生活課

1. 町営バスの運行について、統合した小学生の通学はもとより、町民の生活交通手段として、便利になっていきますが、昼間の空席が目立ちます。住民の利便性を図り、安全安心運行に

福祉保健課

1. 総合健康福祉センター利用者の駐車場拡大に努力されたい。

2. 町税の未収額の徴収率98・9％は県下上位ですが、滞納者の固定化が見受けられます。徴収に万全を期されたい。

努められたい。

3. 子育て支援の医療費無料化が、他町で検討されていますが、当町も無料化を検討されたい。

4. 新型インフルエンザの予防に、保育園・小学校・中学校は教育委員会と連携を図り配慮をされたい。

2. しあわせづくり推進事業のボランティアグループの住民参加推進を図られたい。

5. 夏休み中の放課後児童クラブ運営事業は、更に充実されたい。（平成21年から教育委員会所管）



総合健康福祉センターの駐車場



狭小な踏切り

農林産業課

1. 奥大山高原野菜の取組みとしては、24戸の農家がコンニャク栽培をされています。今後は付加価値をつけるための加工所等検討されたい。

2. 江府町ピアールの案内板を整備され、観光マップについても検討されたい。

3. 林業の作業道補助事

教育委員会

1. 中学校校舎の老朽化、生徒減少などの環境の中、将来に向けて中学校の在り方を検討されたい。

2. 防災情報センターが小学校児童のバスの乗降場になっており、子どもたちの安全に十分配慮されたい。

3. 統合した江府小学校へバス通学する旧小学校児童の状況について、しっかりと見守りを継続されたい。

4. 公民館事業で地域住民の交流にこれから益々力を入れて、公民館講座の充実を図られたい。

1. 新しくロータリー除雪車を購入し、住民の生活に支障がないよう効率化を図られたい。

2. 統合した江府小学校の通学路の安全に十分配慮され、小江尾踏切・小学校間の整備を計画的に進められたい。

特別会計

住宅新築資金等貸付事業

現在、新たな貸し付けはなく償還のみとなっている。滞納状況を精査すれば、償還期限が過ぎた未納が約400万円(5件、4名)あり、半分を占めている。長期固定化しているため、今後も徴収に努められたい。

国民健康保険(事業勘定)

現在、高額医療費の指定は受けていないが、医療費が上がってきている。65歳から75歳の前期高齢者の医療費が特に大きく、病気の予防、検診に努め

医療費の抑制に努力されたい。現在の江府町の国民健康保険税は、県下の市町村の平均より少し安く、また基金の積み立てがあり、税を上げる必要は

無いようだが、後期高齢者医療制度の廃止も叫ばれており、政府の動向に注意し対応されたい。

介護保険事業

江府町内の在宅介護に係わる機関は、ホームヘルプを行う社会福祉協議会、ショートステイ・デイケア・デイサービスを行う介護老人保健施設あやめ・チロルの里特別養護老人ホーム、訪問診療を行う江尾診療所がある。本来の目的であった在宅介護の重要性は、各機関とも認識が共通しているようであるが地域包括支援センターが中心となり、連携して今後の在宅介護サービスのあり方を模索されたい。

農業集落排水事業

宮市地区は平成21年度完了予定であり、美用・小原の工事が本年より着手されている。予定通り進めば、平成23年完成となり、残された杉谷地区が平成24年より工着手の予定である。全町に等しく生活基盤整備をするよう、着々と事業を進められたい。

笠原市民農園

昨年、指定管理を行うにあたり約530万円かけ、修繕を行った。又指定管理委託料として年間



陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

| 件名 | 審議結果 |
|--------------------------------|------|
| 気候保護法制定についての国への意見書採択のお願い | 趣旨採択 |
| ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する陳情 | 趣旨採択 |
| 「農地法改正案」の廃案を求める陳情 | 不採択 |
| 最低賃金の引き上げと中小企業対策の拡充を求める陳情 | 趣旨採択 |
| 2010年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める陳情書 | 継続審査 |



平成21年8月3日、東伯郡湯梨浜町で議会広報紙の一層の内容充実と編集技術の向上のため議会広報研修会が開催されました。

本町議会からも4人の議会広報調査特別委員が出席しました。

**鳥取県町村議会
広報研修会開催**

**あなたも議会を
傍聴して見ませんか**

詳しくは議会事務局へ

電話番号 **75-3307**

議会の（い）き

- (9月)**
 - 4日 西部町村議会 議員研修及び親善球技大会
 - 11日～25日 第7回定例会
- (10月)**
 - 30日 議会広報 調査特別委員会
 - 4日 南部町5周年記念式典 関西交流会
 - 8日 議会広報 調査特別委員会
 - 10日 日吉津村120周年記念式典
 - 13日～15日 地方行政調査
 - 16日 町村議会議員共済 年金受給者鳥取県協議会 40周年記念大会
- (11月)**
 - 4日 西部町村議会 全員協議会
 - 5日 総務経済常任委員会 所管事務調査
 - 8日 日野町50周年記念式典
 - 10日～11日 町村議会議長全国大会
 - 12日 第8回臨時議会
 - 19日 教育民生常任委員会 所管事務調査
 - 24日 日野病院議会 後期高齢者医療 広域連合議会定例会
 - 27日 県町村議会議員研修会
- (12月)**
 - 1日 議会運営委員会 三町衛生施設組合 議会定例会

一般質問



| | |
|---|----------------|
| 問 | 治山、治水対策について |
| 答 | 安心・安全な集落づくりを行う |

質問 近年の異常気象は記録的な豪雨により全国各地で生命、財産に甚大な被害を及ぼしています。このような中、わが町の危険箇所把握と対策はどのようになっているのか、災害に強い町づくりには必要とあります。町長の所信を伺う。

町長答弁 危険箇所の把握については、平成16・17年度に土砂災害防止法に基づく調査が実施された。その結果で、平成18年3月に

安心・安全 夢と希望の町づくりは 日野尾 優

土石流48箇所、急傾斜地の崩壊84箇所、計132箇所が土砂災害警戒区域（イエロー区域）として指定された。この指定にあたっては、全関係集落に調査結果の報告はもちろぬ、警戒区域を示した図を配布しております。町ではハザードマップを作成し、平成19年度から調査した土砂災害特別警戒区域（建築物に損壊が

生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがある区域）につきましては、調査結果を今年度説明する計画です。それらに関する図の作成や訓練などの支援を行い、各種災害に対する防災意識の向上を図り、安心・安全な集落づくり、町づくりを行っていききたいと考えております。



ナラバラ砂防

| | |
|---|-----------|
| 問 | ふるさと大使任命は |
| 答 | 一般公募等検討する |

質問 町の活性化のため、町出身者で県外在住者を「ふるさと大使」に任命し、例えば、お盆、正月の里帰りの機会に招き、「ふるさとを語る会」を開催し、本町の発展策を見つけ出すことも必要とあります。町長の所信を伺う。

町長答弁 県外在住者で、帰町される、お盆、正月等を利用し、固定された人々でなく広く意見を聴く会合（イベント）等開催し、また、既設の関西交流会、広島県人会等の組織の活性化も必要です。江府町や奥大山をPRするため「ふるさと大使」の一般公募は、検討に値する方法であると考えます。

| | |
|---|---------------|
| 問 | 後継者対策は |
| 答 | 西部市町村と連携し取り組む |

質問 未婚者や晩婚者の増加、出生者の低下により少子高齢化社会が一層進む中、結婚するための活動、いわゆる「婚活」の支援事業に取組む必要があるが、町長の所信を伺う。

町長答弁 江府町の就労構成から、次世代を担う若者が就業場所を求め町外に転出しているのが現状です。若者の定住対策を重点施策と位置付け推進します。若者が定住することにより、未婚者の触れ合う場所が多くなり、既婚者世帯の経済安定により、子供の出生の増加、少子高齢化の減速が出てくる事だと思っております。「婚活」支援事業は必要です。本町一町でこうした施策は難しく、県及び西部市町村と一体となり取組んでまいります。



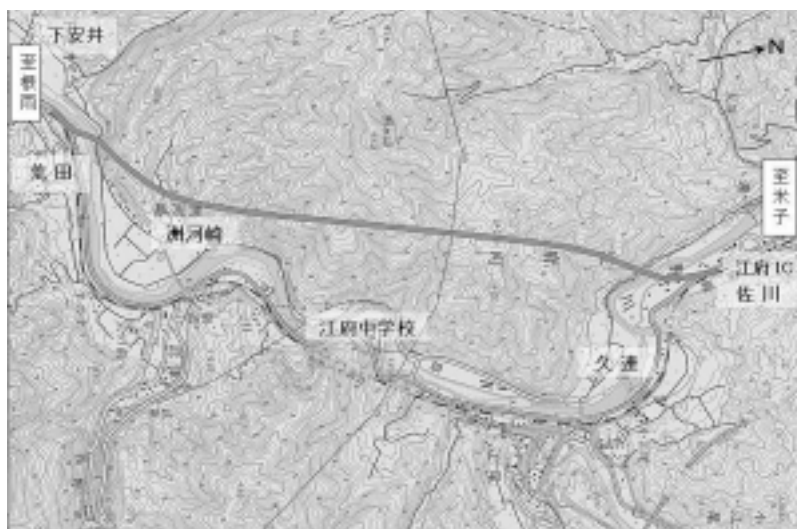
| | |
|---|------------|
| 問 | 道路整備とまちづくり |
| 答 | 安心・安全な道路建設 |

質問 江府三次線（江府道路）開設は鳥取県西部と中国地方の中心都市広島を自動車道で結び、地域産業の物流時間の短縮と、鳥取県西部の経済効果を生み出すものとして関係市町村で開設に向けて努力をされてきた。先の衆議院選挙により、政権が交代し公共事業の見直しが叫ばれ、心配な状況であります。米子道の開通は平成元

年米子〜江府間17km開通。平成4年12月中国道とながり、近畿・山陽方面への時間短縮により、交通事情も変わりました。米子道が開設され17年が経過し、生山道路については一昨年開通され、利便性に一役買っています。江府道路の路線化が決まるまでいろいろな問題をクリアしながら、日野川左岸ルートに決まり、関係集落へ向いて説明されている状況です。道路を造ることに全力を注いでいるわけですが、同時にまちづくり、産業振興についても同じくらい、それ以上に取組まなければいけません。道路整備と産業振興、特にまちづくりのチームをつくって、取り組む必要があると考えます。こ

の江府道路と今進められています。下蚊屋バイパスをはじめ、あらゆる角度から検討しながら、まちづくりを考えていかなければいけません。町長の所見を伺う。

町長答弁 道路には目的があり、江府道路については、広域的な観点から必要性があります。通過大型車両が多く通っている状況で、狭隘な部分もあり、安全確保も町づくりとして必要と考えます。米子自動車道が開通して、当初ストロー現象等心配もあり、観光客の流れも大きく変わったと思います。道路が出来てから産業振興に影響を及ぼすかどうか検討するのは遅すぎると思います。今進行中の宮市から柿原を經由



江府道路計画図

して伯耆町までのふるさと農道は農業運搬利用。下蚊屋バイパスは、企業誘致により大型車両が集落を通過するため、住民の安全にも影響があります。例えば観光産業におきまして、観光資源に磨きをかけて吸引力を高めていくには情報発信力を高めなければいけません。江府道路にしましても

着工しておよそ10年はかかるような大型事業です。この道路の目的、道路が出来た後の事を想定しながら、今からしっかり検討し、また町内の産業に磨きをかけ、準備を進める必要があると思っております。

ひとこと



本一 堀田 博敏

江府米をどうぞ



10年一昔といいますが、6年前、中学校進路指導の先生から進学校を農業高校から工業高校に変更するよう指導を受けました。当時家業は水田50アールを耕作し、牛2頭を飼育しながら貧しくても楽しい生活を送っていたので家業を継ぐ予定でした。

工業高校進学とともに農業と縁が切れ、無縁の電気関係職場で50年近く働き、定年退職とともに家業の農業へ再就職しました。家業は三ちゃん農業で、手伝う事も少なく全

くの素人なので大変でした。現在水田40アールの零細農家ですが、古希を過ぎての手習いは、土作りは勿論、肥料三要素の働きすら理解できず農協の営農指導が頼りです。

私の家では、以前より自家用米は味の良い稲はで乾燥米を食べています。数年前、自家用余剰米を農産物直売所、みちくさに出品しましたが、

「江尾の米は日野川の水で味が落ちる」と不評で売れ残りしました。そこで翌年は大山水系を証明するため、大山をバックに稲はでを写し貼り付けたら売れ出しました。そして昨年米子市内のお客さんから「今まで魚沼産のコシヒカリを通販で購入し食べていたがこの米の方が美味しい、今後も続けて買いたい」と要望がありました。有名なブランド米以上の評価を消費者から得たのです。以前岡山のお客さんから同様な意見を頂いた事がありました。昔から大山水系の米は味が良くて人気が高いと聞いています。以前訪れた先進地の集落営農組合は夫々に販路を確保していました。幸い江府町には法人の農業公社があります。西部農協とタイ・アップして少しでも高値で販売して頂けたら農家に弾みがつくのではと、にわか百姓が身勝手な夢を見ているこの頃です。

真つ青になった秋空が、スキの穂をなびかせながら心地良い今日この頃である。

こんな日、私はやりかけた畑の仕事も、家事も、何もかも放り投げて山に行く。行き先は茸や山菜が有る所ばかりとは限らない。昔、子供の頃に歩いた山や、先人達の話で聞いて奥山に入って行く。少しドキドキ、少々心配もしながら鳥や、木々の声、木漏れ日にとても癒されるのである。ある時、三平山森林公園（蒜山側）がとても整備されているのに気づいたので、幼な友

私の山歩き



下蚊屋 大森ひろ子



達と一時間程かけて登山した。頂上では江府町の全貌を見る事が出来、又蒜山側もすばらしく感動的でした。これが頂上から江府町側にかけて登山道が整備されたら、もつと魅力的な山に成るのにと話しながら降りて来た。

私は退職後色々な所に行つて見て、山や川がとても荒れている事に心を痛めている。子供の頃、あんなにきれいだつた川は茸が繁り、大きな柳の木が川をふさいでいる。

それでも今、江府町にも企業が森と共生する為に力を貸せてもらっている。又江府小学校のぶなの苗作りと、少しづつの取り組みで変わろうとしている。こうした取り組みに私達町民も目を向け、私達が育つた頃のなつかしい自然に少しでも近づく事が出来たら。そんな事に思いを馳せながら、今年の最後は笛吹き山かな？それとも大山道復活かな？と楽しみにしている毎日である。

あとがき

真つ赤に実つたナナカマドが、鮮やかです。

だんだんと山はきれいな紅葉になってきました。今年は、春からの長雨でお米のできがあまり良くありません。しかし気になるのは、政権が変わつて地方がどうなるのか、未だ見えてこないことです。

地方に、弱者に思いやりのある政治を、そして活力が出る政策を期待します。

わたしたち、議会は安心して暮らせるまちづくりに全力で努めます。

川上富夫



議会広報調査特別委員会

委員長 日野尾 優

副委員長 川上 富夫

委員 森田 智

委員 池田 成弘

委員 越峠恵美子